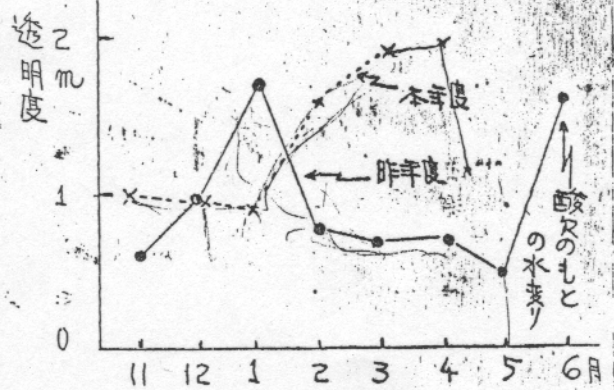


内水試三ノ一

No. 1 19744

現在の水質
本年度もクロステリウム発生!!

昨年7月から9月の酸欠は植物プランクトンの過度の繁殖によってもたらされたものとみられています。酸欠は7月18日以降におこりましたが、これより先に、いろいろな異常現象がみられます。その中の一つにクロステリウムの発生があります。このプランクトンは昭和47年秋に始めて出現したもので、48年6月30日まで発生しました。その後酸欠が、ここより、クロステリウムと酸欠とが何らかの関係があるのではなからんと考えられています。しかしながらことは不明です。今年もクロステリウムが出現し酸欠が心配されますが、量的には、現在のところ少なく、今後の動向が注目されます。因に透明度を測りましたが、昨年の2、3月の透明度に比較すると高く、プランクトンの量がかなり少ないことがわかります。四月1日から、酸欠観測を開始しますが、今年も、この間に定期的な観測を行います。コースとしておぼつかない部分があります。



また、皆さん自身が、水質観測、水質予測ができることが一番です。昨年は私達のカガ、あま、はび、甲斐ありませんでした。今年も四月に一回研究会をもち、それらのことについて、また、研究も予定されています。

研究会開催のお知らせ

霞ヶ浦は昨年は正に、ひんがしの状態でした。今回の研究会は、その原因の検討、対策、マシに予測方法をいかに改善し、話し合ってみようと思っております。研究会は、おぼつかないものを試験場の研究に反映させる機会でもあります。ふるって参加してください。

期日 四月中旬
場所 現地
水産部管内水試
を予定して
います。

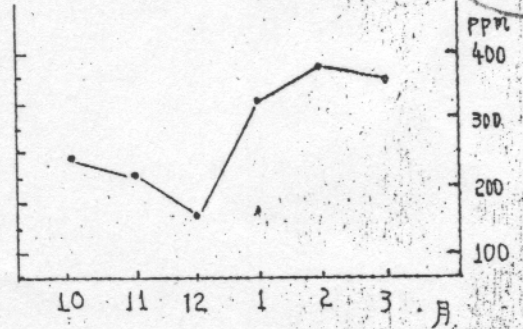
ワカサギ卵入る

昨年の霞ヶ浦のワカサギ漁業は最悪の状態でした。当水試では数年前から人工採苗を試みてきましたが、昨年は二〇〇尾が一グラムの大きさにまで成長しました。本年は三月下旬諏訪湖から一回目として九〇〇万粒が入りました。今年も、これだけのびるか御期待下さい。同時にワカサギ資源の状況をよく知っており、て下で、ワカサギ資源については、近いうちにコースにのせる予定です。

塩素量 上昇

霞ヶ浦の塩素量が上昇。田植等が心配されていますが、霞ヶ浦の塩素量は昭和47年以來はじめて、400ppm前後の高値を示しました。この数年みうりなかつたボラの養殖が、水試の張網にも入りまし、夏多かり、秋にかけ、ボラ釣が楽しめるようです。

内水試



ミニに、内水試を発行することになりました。漁業者の皆さんと内水試との交流が、さかんになる一つの方法と考えております。御意見等、ぜひお返事をください。

玉造町 海辺 TEL 02995-510324
今回の責任者 ハマダ

用語

クロステリウム (植物プランクトン) 緑藻 (PPM) 1リットルの水中の緑藻の数をPPMと表記する。これは、水質のよさという、(透明度) 直徑30μmの白色円板を水中に入れて、その透過率を測定する。